

大館市バリアフリー基本構想 パブリックコメント結果

- (1)意見募集期間 令和4年2月1日(火)
～令和4年2月21日(月)
- (2)意見提出者 39人
- (3)意見件数 99件

意見内訳

計画全体、市政全体に関すること	19件
デザイン、表現に関すること	1件
道路(幅員、舗装等)に関すること	40件
除排雪に関すること	14件
公共交通に関すること	9件
まちづくり、施設に関すること	7件
交通安全に関すること	6件
公園に関すること	2件
心のバリアフリー、ソフト対策に関すること	1件

該当項目	意見内容	市の考え・対応
2.1	多くの人からバリアフリーについての意見を求めることでよりよい地域づくりにもつながると思いました。	本基本構想を策定するにあたり、障害者800名を対象としたアンケートや関連団体へのヒアリング、まち歩き点検などを実施し、そこでいただいたご意見を内容に反映しております。また、策定後も、皆様のご意見を取り入れていながら、よりよいバリアフリーまちづくりを進めていきたいと考えております。
	大館市は温泉が多いイメージがあります。しかし、パンフレットにはあまり温泉などがあまりなく秋田犬のことが多めに書かれています。観光として使いたいのであれば、温泉とかも使っていいと思います。	第二次新大館市総合計画後期計画でも、豊富な温泉資源は大館市の観光・交流資源のひとつとして位置付けられており、大館ぐるみ温泉郷として国民保養温泉地の認定を受けております。市では、地域の宝である温泉を市民や観光客に幅広く知っていただくよう市の観光パンフレットで紹介しておりますが、今後も引き続き積極的な活用並びに情報発信に努めてまいります。
4.3	今回大館市バリアフリー基本構想(案)を読み、将来的な区画整理、高齢者の公共交通機関の利用を見越した整備など計画のさわりの部分を読ませていただきました。普段大館市で暮らしていて不便だと思う点や改善してほしいと思う点が現状の問題点として上がっておりこれからの改善に向かう方向で進んでいくことに喜びを感じました。これに伴って公共交通機関の改善や生活に必要な施設の配置の改善にも取り組んでいってもらえると嬉しいです。	本基本構想の策定にあたり、様々な課題について市民の皆様からご意見をいただき、内容に反映しております。この計画に基づきバリアフリーまちづくりを着実に進め、課題の解決につなげたいと考えております。なお、公共交通機関の改善については、「4.3特定事業の設定結果」で定めている大館駅のバリアフリー化や「4.4その他事業の設定結果」で定める低床バスの導入など、事業実施者と検討していきたいと考えております。また、住みやすいまちの環境づくりを進める中で、生活に必要な施設の配置についても、検討してまいります。
4.3	このバリアフリーの問題は、これから先なくなることもないし、改善策というものもある程度しかなく、たくさんの人に適応させなければならないとても難しいものだと思います。だからというもなんですが、ひとつずつ解決していくのがよい方法だと私は思います。大館市は常にいろいろな場所で比較的大きな工事を行っている印象があるので、それがよくないというわけではないですが、ひとつの工事を終わらせてから次の工事に移った方が短期で終わらせることも可能になります。それに加えて移動が制限されてしまっている感じがします。私は駅から秋田職能短大までの道をよく使っていますが、この間の御成町の道路工事で思ったことは、やはり工事中のところを歩くのは怖いし危険を感じるので、いつもその道を使っていた人たちは遠回りをすると思います。そこからさらに大館駅の改修工事が重なり、常に工事の現場を見ている人たちは、安心して歩けなくなってしまいます。私はいつもいつこの工事は終わるのか、と思いながら歩いています。こう感じる人も少なくはないと思います。工事は町をよくするために必要なものですが、優先順位を決めてその時に最も必要な工事をひとつずつするのがよいと思います。利用者的にはそうした方が気持ちが楽だと思います。	ご意見のとおり、市の様々な課題を解決するため、複数のまちづくり計画に基づいて事業を実施しておりますが、全ての課題を解決するには長い期間が必要であると考えております。いち早く市民の皆さまが住みやすいまちづくりを実現するため、優先順位を定めて市全域で工事を進めておりますので、事業期間中等、市民の皆さまにご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をくださるようお願いいたします。

4.3	IOTなどDXを取り入れたこれからの街づくりも視野に入れながら計画を立ててほしい。世の中が変わる時には一気に変わるので、後手だとハード面が遅れ続けて行くことになる。	IoTなどDXを取り入れたまちづくりについては、上位計画である第2次新大館市総合計画後期基本計画でも重点プロジェクトの一つとして位置づけられており、それを踏まえ、本基本構想においても「4.4その他事業の設定結果」に、高齢者等の外出機会の創出、共生社会の実現を図るため、AIを活用した新たな交通移動サービス「大館版mobiプロジェクト」の導入について検討することとしております。 また、今後についても、先進技術を取り入れたまちづくりについて検討してまいります。
3.3	マスタープランを読ませていただきましたが、とてもいいアイデアだと率直に思いました。町の中心である人口が集中している箇所を移動等円滑化促進地区として計画を進めていくということですが、私はもっと町全体を視野に入れてかえていったほうが良いと考えています。人が多いところから変えていくというのは理にかなっていて効率的な方法だと思います。しかしながら、それでは計画外の地域が可哀想だと感じました。町全体を少しずつ変えていった方が良いのではないかと一個人として思っています。	移動等円滑化促進地区は本市のバリアフリーまちづくりを効果的に推進するためのモデル地区として、人口の分布状況、駅等の拠点施設の利用者数、まちづくりにおける地区の位置づけから総合的に判断し設定しております。 そのため、移動等円滑化促進地区外へのバリアフリー化をしないというわけではなく、移動等円滑化促進地区におけるバリアフリー化の基本方針を参考に、市全体のバリアフリー化を進めてまいります。
4.3	駅前とよばれる区域はほかの地域、都市などと比べて賑わいに欠けてると実感することが多い。そのため、中心市街地の整備によってもっと活発になるような施設などを配置してほしいと感じた。大館に始めてきて駅周辺を散策しようとしても正直あそこに行ってみたいと思う施設は多くないと感じるため改善してほしい。また、駅前周辺で生活に必要なものが揃えられるようになれば、高齢者や障がい者も生活が楽になるのではないかと考えた。	ご意見のとおり、中心市街地の活性化は市の課題の一つであり、市民生活の向上には欠かせないと考えております。本計画の上位計画である大館市都市再興基本計画においても拠点となる駅前周辺地区の整備を掲げており、賑わいのあるまちにするため、本計画と連携して進めていきたいと考えております。
6	まち歩きによる点検、アンケートやヒアリングを踏まえた課題の抽出とそれに対する方針の検討など、丁寧に計画構想案が作り上げられている印象を持ちました。 策定後は、事業者（行政、民間事業者）による主体的な動きに加え、町内会や各種自主組織、家族などの活動や支援等も不可欠だと思います。6.推進に向けた取り組みにおいて、「大館市バリアフリーまちづくり推進協議会」を開催しながらPDCAを回すことも示されていますが、この計画がまずは市民にしっかりと届くように情報発信等に努めていただき、様々な面においてバリアフリーな大館になることを期待しています。	バリアフリーまちづくりを推進し、共生社会を実現していくためには、事業者と協力してハード整備を推進していくだけではなく、市民一人一人に心のバリアフリーを理解していただくことが必要と考えております。 本計画が市のバリアフリーまちづくりの計画として、市民の方に心のバリアフリーを理解していただく一助となるよう広報やHP等を活用して情報発信に努めてまいります。
	弱者だけではなく、すべての人にとってのバリアフリーを目指してほしい。LGBT対応も含まれるので、トイレなどから対策を含めては。	この計画は移動制約者だけではなく、全ての人が共にお互いの人格や個性を尊重して、支え合って生き生きとした生活を送ることができる共生社会を実現を目指しております。LGBTの方も含めて過ごしやすい環境の実現に向けて、ハード整備の検討を行うほか、心のバリアフリーの普及啓発などソフト整備も併せて推進してまいります。
3.2	秋田労災病院も市民が多く利用する重要な場所になる。（ほとんど敷地内で完結？）	ご意見のとおり、秋田労災病院も高齢者、障害者等が多く利用する重要な医療施設と考えております。本計画では、「1.4基本構想において重視すべき視点」のひとつとして、「総合的な都市機能の増進を図る上でバリアフリー化事業の重点的・一体的な実施が特に必要な地区、施設・経路を抽出し計画的に整備を推進」としていることから、重点生活関連施設からは除外させていたいただきましたが、重点生活関連施設のバリアフリー化を参考に検討してまいります。

3.3	樹海ドームも観光施設に含まれる。	大館樹海ドームパーク(樹海ドーム)は、年間を通じてスポーツや大規模な催事等に使用されている複合施設であり、本計画の「3.3(3)共生社会参加モデル施設」に健康増進のための重要施設として共生社会参加モデル施設に抽出しております。 今後は、モデル事業の事業化に向けて検討してまいります。
4.4	民間施設のバリアフリー化がなかなか進まないで強制力と補助金の組み合わせによる支援が必要。ケースバイケースが多いため、大館市の方針をはっきりさせて、市民に知ってもらふ事も重要と思う。	ご意見のとおり、民間施設のバリアフリー化の推進はバリアフリー課題の一つとして考えており、民間施設のバリアフリー化を促進するため、民間事業者が施設をバリアフリー化する際に要する費用の一部を市が支援する【企業版バリアフリー】を「4.4その他事業の設定結果」で設定しており、今後、民間事業者と協議検討してまいります。
4.4	成年後見制度利用はハードルが高いので、そうなる前の法的対策を呼び掛けたほうがよい	市では、令和3年度に大館市成年後見制度利用促進計画を策定して、成年後見制度の利用が必要な人が漏れなく制度を利用できるよう、広報機能や相談機能の充実を図ることとしており、令和4年3月には「大館市成年後見支援センター」(事務局:福祉課・長寿課)を設置して、その体制を強化してまいります。 判断能力が不十分となる前に将来に備え利用する任意後見制度を含む成年後見制度の利用の周知を図っていくとともに、判断能力が不十分な方を地域で支えるための地域連携ネットワークとして、令和4年4月より医療・福祉・法律の専門職団体や関係団体をメンバーとする「大館市成年後見制度利用促進協議会」を設置し、制度利用の支援体制を構築してまいります。
2.1	ワークショップの資料を見ると、様々な問題点がピックアップされており、その中にも市民の協力で解決できそうな項目もあった。少しずついいので市民向けキャンペーンなどを行い一つ一つ解決していく積み重ねも必要と思った。	ご意見のとおり、バリアフリー課題の解決にはハード整備だけではなく市民の理解と協力が必要不可欠と考えております。。教育関係者や福祉関係者等と連携し、心のバリアフリーの普及啓発を図り、全ての人が過ごしやすい環境づくりを推進してまいります。
4.4	県も含めて、多様な取り組みで項目上はカバーしていると思うが、残念ながら実感できるほどは進んでいないと思う。県の取り組みで不足する部分は市独自でも動きが必要かも。	市民にバリアフリーのまちづくりが実感していただけるように、本基本構想で設定した特定事業を着実に実施していくため、大館市バリアフリーまちづくり推進協議会と協力し事業の進捗管理を行ってまいります。また併せて、新たなバリアフリー課題の検討とモデル事業の事業化を平行して検討していくことで市全体でのバリアフリー化を推進してまいります。 なお、本計画の「4.4その他事業の設定結果」に市の独自事業として、民間事業者が実施するバリアフリー化について支援する「企業版バリアフリー」や新たな交通移動サービスを導入する「大館版mobiプロジェクト」など位置づけ、実施に向けて検討しております。
6	■全般的に 完成後のメンテナンスを継続させる	ご意見のとおり、バリアフリー化を整備していただくだけではなく、整備後に適切に維持管理していくことも必要と考えております。そのため、大館市バリアフリーまちづくり推進協議会で、バリアフリー課題を継続的に協議し、施設管理者等と情報共有を図ることで適切な維持管理をしていきたいと考えております。 また、今回設定した特定事業が着実に実施されるよう、事業の実施状況についても大館市バリアフリーまちづくり推進協議会で確認し評価してまいります。
	バリアフリー化推進のイメージの通り、市民が住みやすい生活しやすい環境を整え維持することが大切と思う。 今回の構想は大変な高いハードルであると認識すると共に、工程の通り実施されることを望むものです。	

	大館市は合併の連続の街である為、街造りの考え方が様々あると考えるが、どの地域についても皆大館市民である。 バリアフリーというと障害者や高齢者をイメージされるが、生活の行動に優しい環境は人の動線の拠所が全て当てはまります。	本計画は高齢者や障害者だけではなく、全ての人がお互いの人格や個性を尊重して、支え合って生活できる共生社会の実現を目指しており、共生社会を実現させるためには、市全域でのバリアフリー化を図っていくことが重要と考えております。 本計画では、総合的な都市機能の増進を図る上でバリアフリー化事業の重点的・一体的な実施が特に必要な地区として重点整備地区を設定しておりますが、重点整備地区外についても同様に優先順位を定めてバリアフリー化を推進し、市全体のバリアフリー化を図っていきたいと考えております。
5.2	「大館市をとりまく現状」に「観光客の増加」とあるが、観光客に対する配慮は全然考慮されていないが、これでいいのですか？ どこかに一項目設けてもいいのでは。	ご意見のとおり、観光で訪れる方に対するバリアフリーも共生社会を実現するために重要と考えております。 本計画では項目としては設けてはおりませんが、「共生社会参加モデル施設」として設定した観光交流拠点3施設のバリアフリー化の検討を「5.2モデル事業」に位置付けており、関係機関と連携してバリアフリー化を進めていきたいと考えております。

【デザイン、表現に関すること】

1件

該当項目	意見内容	市の考え・対応
	いくつか体裁等で気になる箇所がありましたので、以下に示します。 P10、P64 子育て支援団体について、正式名称は「おおだてde子育て」となります。修正をお願いします。* おおだては、漢字ではなく平仮名です。 P17 選定フロー図に、上記①～⑥を加筆した方が分かりやすいと思いました。 P23-25 図中、“移動等円滑化促進区域”と“歩道”の表現の区別(線種、色)がつきにくいと思いました。 P29-30 扇田地区や早口地区には重点整備地区は無しということでしょうか？その場合、凡例に記載は必要でしょうか？ 以上です。本計画の策定の一助になれば幸いです。	ご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に誰もが分かりやすい基本構想となるよう修正してまいります。

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.3	大館市バリアフリー基本構想概要版を読んで意見します。 まず2の道路の問題点についてです。大館市の道路はすごく穴が開いている場所が多く、避けて走らないといけなくなり危ない思いを多くしています。またこの穴のまま雪が積もると大きな段差になってしまい、さらに走りづらくなります。道路の舗装はやっていると思いますがほったらかしにされているところも多くあるので大きい道路からでもいいので道路の穴埋めをしてほしいと思います。	道路状況によっては、全ての人にとってバリアとなりうることから、適切に維持管理をすることが重要であり、道路管理者である国及び県、市で情報共有し、点検、修繕を計画的に実施してまいります。 また、本計画の「4.3特定事業の設定結果」や「4.4その他事業の設定結果」に位置付けている大館駅東大館線歩道補修工事等の道路事業を実施すると共に、「5.2モデル事業」として重点生活関連経路のバリアフリー化を検討し、市全域でのバリアフリー化を図ってまいります。
	歩道の段差(凹凸)の改善	
	車道や歩道に穴があいてるのをよく見かけるので、舗装をしてほしいです。	
	大館市立城南小学校前の歩道に木が植えられているのですが、何本かの木が歩道の真ん中にあり危ないです。木を撤去したほうが良いと思います。	
	私は、交通面において不満を抱く。整備が追い付いていないためか道路の凸凹が非常にめだって見られる。自動車の寿命を縮めるとともに、事故の発生の元にもなるため改善することを求めます。	
	私はやはり、道路の整備がバリアフリーの中で一番重要になると考える。高齢者や歩行困難の人には窪みや段差は大きな障害になっているだろう。	
	大館は店や学校が色々な場所にあるため、資料にあったように基本的には車での移動になると思います。車を持たない学生や公共の移動手段を使う人は多くありません。なので、車の利用を中心にバリアフリー化を目指すのが優先だと思いました。 資料にあったように大きく分けて2つの優先すべき課題があると思う。 1つ目は、道路の凹凸。道幅が広いのでよけられないこともないがやはり気になる。車やバスでの移動がメインとなる人は80%以上いるようなので優先すべきだと思う。舗装をし直すか、一度壊してロードヒーティングを導入し新しくするかどちらかがいいと思う。個人的な意見になりますが、融雪剤は車にも影響が出るのでさけていただきたいと思いました。	
	道路については、雨の日などの排水状況も加味し、解決してほしい。	
	■道路環境の整備 ・側溝の蓋整備(蓋の無い箇所が多いと思います) ・道路の補修	

4.4	私が大館市に暮らしていて危険または改善してほしいと思ったことがあります。それは、道幅が狭いことです。職能短大付近にある住宅街の道幅が狭く、私自身車を運転している身ですが、歩行者が歩いている時の運転が怖いです。特に最近では雪でさらに道幅が狭くなっているので、危険だと感じています。住宅街のため道幅を広げるのは難しいことは承知しています。ただ、何も改善されないのではなく、個人の意見ですが、運転者・歩行者が注意して通行できるよう標識の設置を増やしたり、死角が多いのでミラーの設置を増やしたりと少しでも危険が緩和されるようにしてほしいと思っています。	カーブミラー等の交通安全施設の適正な配置は、歩行空間の安全を確保することにつながるため、道路管理者と協議し、現場を巡視しながら危険性の高い箇所への設置を進めてまいります。また本計画の「4.4その他事業の設定結果」に交通安全事業として標識の視認性の確保を位置づけているため、公安委員会と情報共有し道路標識の維持管理に努めてまいります。
	歩行者と自動車の境界線が曖昧かつ、容易にその境界をまたぐことができるため、ガードレール設置や、歩行者通路をアーチ状にして囲む等で事故を回避する。 ■道路環境の整備 ・道路、歩道の安全ライン表示(カラーライン、表示)	障害者や高齢者等すべての人の移動上の安全・利便性を確保するため、歩行空間の安全確保に向け、道路管理者および公安委員会と情報共有し、現場を巡視しながら危険性の高い箇所への設置や修繕等を進めてまいります。
4.4	道が狭い場所や坂が多く、見通しの悪い交差点もあるため、高齢者や障害者の方々には危険な場面が多くあるのではないかと考えた。 道路整備をこのまま進めてほしい。 細すぎる道路が多いと思います。主に留置所の前の道路です。通常でも2台ギリギリなので雪があれば1台しか通れないと思います。また通学路でもあると思うので歩行者の歩くところがありません。歩行者が車をよけるために道路の真ん中をあるかざる負えない状況をよく見るので道路の幅を広げてほしいと思います。 道路の問題点にある「歩道の幅が狭い箇所がある」「冬季は雪が積もって歩きにくい」が特に自分も実感することが多いと感じた。 私が住んでいる近くの道路は道幅が狭く、歩いていると、車と体がぶつかりそうになったことがあるため、道路の幅を広くして欲しい。 ヤクルト営業所前の交差点 ・付近の道幅が狭い。→道幅を広げ、白線を設置してほしい。 ・車のスピードが速く、危険。→信号機を設置してほしい。 私が今住んでいる地域の周辺の道路が、歩道の幅も少なく、あったとしても、そもそも道路の幅が狭いので歩道側に自動車乗り上げてきていつ轢かれてもおかしくない状況です。 赤館の“茶色の小びん御麵”から秋田職業能力開発短期大学校までの道幅が狭いため、その地域から登校する小中学生と車の接触が考えられる。雪が積もって道幅がより狭くなった際は車が徐行しないと通れないため、車の渋滞に歩行者も並んでいるときがある。	歩道環境の改善は、本計画でもバリアフリー課題として考えており、「4.4その他事業の設定結果」に歩行空間を改善するため、御成町南地区土地区画整理事業による整備や、電線共同溝の設置などを位置づけ実施しており、今後も継続して実施していきたいと考えております。また、道路の拡幅等に関しては、補償補填や用地取得を伴い難しい面もございますが、今後も大館市バリアフリーまちづくり推進協議会を開催し、危険箇所の情報共有を行い、優先順位を定めバリアフリーまちづくりの推進に努めてまいります。

4.4	歩道などの道路が狭い箇所が多く、車や人のすれ違いがとて危なくなっているの、道幅を広くするなどの道路の整備を優先してやってほしい。	歩道環境の改善は、本計画でもバリアフリー課題として考えており、「4.4その他事業の設定結果」に歩行空間を改善するため、御成町南地区土地区画整理事業による整備や、電線共同溝の設置などを位置づけ実施しており、今後も継続して実施していきたいと考えております。また、道路の拡幅等に関しては、補償補填や用地取得を伴い難しい面もございますが、今後も大館市バリアフリーまちづくり推進協議会を開催し、危険箇所の情報共有を行い、優先順位を定めバリアフリーまちづくりの推進に努めてまいります。
	大館郵便局の前の歩道が狭いため小さな子供やお年寄り、障害者の方々には危険性がある。	
	高齢者が安心して歩けるような道理にするべき。今のところは、道路の幅が狭すぎるとこが問題になっている。	
	道路も整備においては、事故の危険性が高いところから整備を進めてほしいです。道幅が狭く、車と歩行者の距離がとて近い道路は、何かしらの規制をかけるか、道幅の増加をお願いしたいです。	
	大館市の道路の道幅が狭く、私自身危険な思いをしたことがある。バリアフリーという観点から高齢者や障がい者が安心・安全に外出できる道路の幅にしてほしい。	
	全体的に歩道が狭くて、車との距離が近く何度か危ない目にあいました。道路の幅を十分に確保して、車と歩行者の距離をもっと広く確保していけたらいいと思います。	
	最近、イトクショッピングの道路の幅が広がりとても安心して車を運転できるようになった。しかし、郵便局への道幅は狭く、市民が歩いているため少し危険だと感じた。郵便局は、利用する人が多くいると思うので、付近の道路幅が広くなればいいと思った。	
	大館市がとったアンケート結果によって生活環境が整っているという意見が高校生と一般市民から出ている。大館市には歩道が途中で途切れたりしていたり、まったく歩道がないところが多くみられる。特に冬の場合は雪で道幅が狭くなる上に道路を人が歩かなければならない状況になっているため、人と自転車やすれ違う時に自動車との事故につながる危険性が多いと思う。なので、歩道をを設置して道路と分ける必要があると感じた。	
	職能短大付近の道幅が狭く、交通に不便なので改善してほしい。短大付近は重点生活関連経路の対象外だが、徒歩や自転車で通勤・通学する人が多い上、車通りもあるので事故の危険性がある。	
4.3	朝や夕方渋滞がひどく、バスや大型のトラックが通りづらそうな道も多い。だから、車道や歩道を広くしてほしい。	視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)の適切な維持管理及び敷設は、本計画でもバリアフリー課題として考えており、「4.3特定事業の設定結果」の道路特定事業として対象路線に実施してまいります。また、令和4年度以降、重点整備地区の視覚障害者誘導ブロックの補修工事を適宜実施していく予定となっております。その他の路線についても、視覚障害者誘導用ブロックの段階的な設置や維持管理について道路管理者である国、県及び市で情報共有しながら検討してまいります。
	車が簡単にすれ違えない場所も近所に多く、しかもその道路は道幅のわりに交通量と歩行者が多く、たくさんの人が利用するため非常に狭いのが危険に感じる。	
4.3	歩道が狭いしかしガードレール点字ブロックが少ない気がします。目の不自由な人からしたら不安な街だと思います。	
	点字ブロックが途中で切れているところがあったため、目が不自由な人たちのためにも点字ブロックをちゃんと設置した方がいいと思う。	

	私は、大館市の扇田地区に住んでいます。扇田地区は、移動等円滑化促進地区の1つに挙げられており今後も移動の円滑化に力を注いでいく地区であると思います。現在の扇田地区は、歩行者用道路の道幅が狭いところや車がすれ違えず、歩行者が歩く幅もほとんどない危ない道が多数存在していると感じています。なので障がい者のかたや高齢者のかたはもちろん、私たちのような若者でも自動車事故などに巻き込まれたりする可能性が高いのではないかと考えます。そこで私は、道幅をバリアフリーの観点から、視覚に問題のある方のための点字誘導ブロックや、歩行に難がある人でも安心して歩けるよう、道幅の広い道路に誘導できるようなものを設置すればよいのではないかと考えました。 大館駅の前に点字ブロックがあったので良いと思った。 街中を歩いていると、点字ブロックがはがれているのをよく見かけます。障がい者の人が歩きにくいと思うのでしっかりと点検し、はがれているところは新しくするなどしたほうが良いと思います。 道路上の点字ブロックが剥がれている箇所が多い。 4.3 国道などの大きい道路付近は割と整備されているが、道幅の狭い道路の歩道や歩道自体きちんと整備されていない住宅街辺りの道路には点字ブロックすらない。高齢者や視覚障害者であれば移動手段が車ではなく徒歩になる方も多いため、非常に危険である。 そのほかにも信号機近くに点字ブロックがなかったり、あっても壊れていたりするため、歩行者には優しくないと思う。 2つ目は、点字ブロックなどです。点字ブロックの多くは劣化しているため修理や交換の必要があります。これは比較的対応が早くできると思います。 大館市出身ではありませんが、さらに町が良くなるように頑張ってください。 たまに街を散策していると、点字ブロックがところどころ剥げていたり、段差があったりと、体が不自由な人に対して不便な環境だと感じました。このままだとつまずいて転んでしまったり、赤信号のまま渡ってしまったり等の危険が伴います。障がい者や高齢者の方々だけに限らず、小さな子供や大人も同様に、怪我や事故に巻き込まれてしまう可能性もあるため、信号機に音をつけたり、歩道を平らに整備してほしいです。	視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)の適切な維持管理及び敷設は、本計画でもバリアフリー課題として考えており、「4.3特定事業の設定結果」の道路特定事業として対象路線に実施してまいります。 また、令和4年度以降、重点整備地区の視覚障害者誘導ブロックの補修工事を適宜実施していく予定となっております。 その他の路線についても、視覚障害者誘導用ブロックの段階的な設置や維持管理について道路管理者である国、県及び市で情報共有しながら検討してまいります。
4.4	高齢者や障害のある人らが移動しにくいのは、冬!!! 歩道の凍結や積雪により通行が難しくなっています。その解決策として、環境に優しい「地中熱を利用したロードヒーティング」が最適と考えます。また、歩道の幅を広くして電動車いすやシルバーカーが走行しやすいようにすることや、歩道の清掃(小石や土等の除去)が肝心かと思います。 さらに、健康を長く成就できる街とするために、歩道のロードヒーティングと共に自転車道の整備及びロードヒーティングが必要です。歩くこと、自転車を漕ぐこと、外に出て日光や風にあたることで健康を維持しましょう。 結論:そこに暮らす人が心地よく外に出かける気持ちになりやすい環境を作るために、歩道や自転車道のロードヒーティングを含めた整備が必須と思います。	積雪は本市特有のバリアの一つと考えております。 本計画の「5.2モデル事業」に冬のバリアフリー化の取り組みとして、重点生活関連経路における優先的な除排雪や横断歩道の見通しの確保の実施に向けて検討することとしております。 また、「4.4その他事業の設定結果」では冬の歩行環境の整備として、道路管理者である国、県及び市で連携し、道路状況を適切に維持管理しながら適宜除排雪をするよう努めてまいります。 令和4年度には、路面清掃車を購入予定であり、歩道の清掃等についても推進していきます。 ロードヒーティング等の道路整備のご意見につきましては、歩行空間の安全を確保する上で有効ですので、今後の協議の参考とさせていただきます。

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.4	最近特に思うことなのですが、大館市の道路の除雪をもっときれいにしてほしいです。車が通ったタイヤの跡のまま固まっていて通る際にタイヤがとられて事故に遭いそうになります。歩道も狭くて、場所によっては雪で塞がって通れなくなっているの、皆が通行しやすくなればいいなと思っています。 大館市のバリアフリー基本構想を拝見して、この街で誰もが暮らしやすくなるような計画が考案されていていいなと思いました。私は、大館市に住み始めて1年くらいなのですが、街がよりよくなるような計画がされていて素敵とも思いました。この計画によってより住みやすくなること願っています。	ご意見のとおり、積雪は本市特有のバリアの一つとなっております。 本計画の「5.2モデル事業」に冬期のバリアフリー化の取り組みとして、重点生活関連経路における優先的な除排雪や横断歩道の見通しの確保について、検討してまいります。 また、その他の道路の除排雪についても、冬期の歩行環境整備や道路状況の適切な維持管理をするため、道路管理者である国及び県、市で情報共有し、道路パトロールをしながら適宜除排雪に努めてまいります。
	冬は雪が積もると、歩きづらい。	
	冬場は特に雪の影響もあって幅が狭くなるので何とかしてほしいです。	
	雪が積もりすぎて見づらいバス停を見かけるので雪かきをしてほしい。	
	雪道での狭い道路での車の運転で、道が悪く雪でハンドルを取られたらすぐに事故にあってしまうので、小さな道まで除雪を行ってほしい。	
	・冬場の除雪の頻度の増加 ・歩道の除雪の範囲を拡大	
	冬になるとさらに道が狭くなり雪でも滑るためその危険性がますます考えられる。	
	来年の冬は積雪への対応を迅速にお願いします。	
	道路の雪の除雪がぼこぼこすぎて、とても歩きにくい。難しいと思いますができるだけぼこぼこしないようにきれいに除雪してほしいです。	
	冬の道路は市街地にしか行き届いていないためか住宅街やちょっとした小道の雪かきがされておらず自動車の通行に支障をきたしているため改善を求めます。	

4.4	私は現在自動車学校に通っています。送迎はバスが来てくれるのですが、乗っていてふと思うことがありました。それは、道路がせまく雪が積もっている今の時期は最も危険です。歩行者もかなり気を付かって歩いています。そこで私は、上記で述べた町全体を少しずつ変えていくということを道幅の改善の提案をします。 冬場は道幅がさらに狭まり、車同士がすれ違うのもやつの状態なので危険だと思った。 ■道路環境の整備 ・冬期間の道路、歩道、安全通路の確保 ・冬期間の道路交差部の排雪による視覚の確保 ・冬期間の横断歩道の確保	ご意見のとおり、積雪は本市特有のバリアの一つとなっております。本計画の「5.2モデル事業」に冬期のバリアフリー化の取り組みとして、重点生活関連経路における優先的な除排雪や横断歩道の見通しの確保について、検討してまいります。また、その他の道路の除排雪についても、冬期の歩行環境整備や道路状況の適切な維持管理をするため、道路管理者である国及び県、市で情報共有し、道路パトロールをしながら適宜除排雪に努めてまいります。
4.4	私は下川沿地域に住んでおりますが、各所に段差のある市道があります。特に冬になると通学路はじめ、積雪が大変です。住みやすい街づくりは安心安全な道路と堆雪される雪問題の解決ではないでしょうか。 先導的共生社会ホストタウンと名にはじない目に見える実行と現実の生活道路の整備ではないでしょうか。	ご意見のとおり、道路整備や除排雪はバリアフリーまちづくりを進めるための課題と考えております。基本構想では総合的な都市機能の増進を図る上でバリアフリー化事業の重点的・一体的な実施が特に必要な地区として重点整備地区を位置付けておりますが、誰もが住みやすいまちづくりを目指し、重点整備地区や移動等円滑化促進地区だけではなく市全体でのバリアフリーまちづくりを進めるため、本計画や昨年度策定したバリアフリーマスタープラン、各関連計画との連携に努め、道路事業を始め、様々なハード事業やソフト事業を実施し、段階的なバリアフリー化を推進してまいりたいと考えております。

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.4	最寄りのバス停には屋根がないため、屋根をつけてほしい。また雪が降ると道幅が狭くなるため、バス停に並んでバスを待っていると、歩行者の邪魔になってしまったことがあった。 バス停の見直し ・停車している際、死角になる場所があり、歩行者が危険。 →停車スペースと歩道の改良。 ・段差などが多く、お年寄りや、子供が危険。 →停車スペースの改良。 バス停の待ちスペースが狭くお年寄りが使えるのが少ない 大館市は車社会だと思うが、きちんとしたバス停が少ないように思われる。郵便局前などが特に危険だと思う。道が狭くて難しいと思うが、利用者が少なくてもまてるようにすべきだと思う。	バス停留所の環境整備はバリアフリーの課題であると考えております。本計画でも、「4.4その他事業の設定結果」の公共交通事業として、交通機関(電車・バス)の乗り継ぎ拠点である大館駅前広場の環境整備を位置づけており、待ち合い環境の整備を推進するため、バス事業者と連携して検討してまいります。
4.4	バリアフリーに関しては、市役所近くが坂が多いので冬、雨の日は滑りやすくお年寄りがつらいかなと思います。バスもありますが、そこまで多いイメージがありません。バスが多いと移動手段が増え坂が楽になると思います。 大館市は高齢者が多い市であるため、走らせるバスの数を増やせばもっと障がい者のかたや高齢者のかたに寄り添った、より良い街になるのではないかと考えました。 公共交通の現状として大館駅を中心として各方面に鉄道や路線バスが走っているが市の中心部から離れたエリアの中に公共交通不便地域があるため、その地域の人たちが市の中心部に行きやすくなるような案を考えてほしい。	公共交通不便地域の解消や公共交通の利便性の向上について、公共交通におけるバリアフリー課題として考えております。それらの課題を解決するため、本計画の「4.4その他事業の設定結果」に「新たな交通移動サービスの導入」を新規事業として位置づけ、今後高齢者等の外出機会の創出を促進し、共生社会の実現や地域経済の活性化を図るため、協議検討を進めてまいります。
4.4	バリアフリーは意識して生活しないと自分たちにはわからないことがおおいいため、資料によって障がいを持つ方がどこのどんな部分に不満を持っているのか知ることができた。特に「特定事業のイメージ」にある、ノンステップバスの導入などは取り売れたほうがよいだろうと感じた。	市としてもノンステップバスの導入については、公共交通のバリアフリー課題の一つとして考えております。本計画の「4.4その他事業の設定結果」の公共交通事業に「ノンステップバス等の導入に努める」と位置づけており、バス事業者と協議を進めてまいります。
4.4	病院等に行き行く高齢者のためにバス停のベンチを増加し利用しやすい状況を作る、健康維持のために体を動かすイベントを開催することなども過ごしやすい街作りにつながると思います。また、イベントの会場を交通機関で向かいやすい場所にすることでバス利用者の増加も見込めるのではないかと考えました。	バス停留所の環境整備はバリアフリーの課題であると考えております。本計画でも、「4.4その他事業の設定結果」の公共交通事業として、交通機関(電車・バス)の乗り継ぎ拠点である大館駅前広場の環境整備を位置づけており、待ち合い環境の整備を推進するため、バス事業者と連携して検討してまいります。 また、健康的イベントの開催は市民の健康寿命延伸および市民の社会参加の促進に重要なため、継続的に健康づくりのための運動講座等を推進してまいります。

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.4	車椅子を必要としない人(普通に歩くことができる人)が車いす専用駐車場止めているのを、たびたび目撃することがありますので、ゲートを設けるなどの改善をしたほうがいいと思っています。	障害者等用駐車区画の適正利用を図るため、本計画の「4.3特定事業の設定結果」の教育啓発特定事業として、心のバリアフリーの普及啓発を図りつつ、「4.4その他事業の設定結果」のソフト事業《秋田県》として障害者等用駐車区画の適正利用の促進を位置付けており、適正利用の啓発事業を実施・支援してまいります。
	駐車場に車を駐車する際に車間距離が狭く、車の乗り降りがしづらいため、駐車場の車間距離を広くした方がいいと思う。	ご意見のとおり、駐車区画の拡幅は施設利用者のバリアの解消に有効と考えております。基本構想では、面的・一体的なバリアフリー化を図り、誰もが住みよいまちを目指しているため、施設管理者と情報を共有しながら検討してまいります。
4.4	道路から、建物までの道が整備されていないため、舗装が必要だと思う。	施設のバリアフリー化は、施設利用者のバリアの解消に有効であり、面的にバリアフリー化が図られることで、共生社会の実現に近づくことができると考えております。 本基本構想に基づく施設のバリアフリー化を図るとともに、本計画の「4.4その他事業の設定結果」のソフト事業《大館市》として「企業版バリアフリー」位置付け、民間施設のバリアフリー化を支援できるよう検討しております。 また、「5.2モデル事業」でも施設のバリアフリー化を位置付けており、事業化に向けて検討している、市全体のバリアフリーまちづくりを推進してまいります。
	勾配が急なところがあるため、段差をつけるなどして転倒を回避する。	
	様々な店舗にて、自動車駐車場と歩行者が店舗の入り口まで行く通路が共有にあり、やむを得ない事故を考慮して、駐車場と歩行者通路の完全差別化を図る。	
	建物に関してだが、新市役所をはじめ比較的新しい建物にはバリアフリートイレ等備わっていると思うが、昔の建物はどうするかを分かりやすく提示してもらいたい。	
	■トイレの整備 ・バリアフリー化を前提に、きれいで、臭くない、トイレに ・子供、女性専用のトイレの確保	

【交通安全に関すること】

6件

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.4	次に2の交通安全についてです。1つは道路標識が少ないことです。わかりづらいところに置いてあったり、マークがかすれていたり、傾いていたりして管理が行き届いていないのがすごく感じ取れます。歩行者のためにも道路標識にも手をかけてほしいです。	道路標識や信号機などの交通安全施設の設置による歩行環境の改善は、バリアフリー課題の一つと考えております。また、共生社会の実現や高齢者、障害者等の社会参加という観点からも歩行環境の安全確保は重要であることから、本基本構想でも「4.4その他事業の設定結果」の交通安全事業として視覚障害者用音響付き信号機の設置等を位置づけており、公安委員会と情報共有し適切な維持管理を推進してまいります。
	大館のバリアフリー化のために、音響式の信号機を設置すると耳が不自由な人も外出しやすくなると思う。	
	拘置所前三叉路 ・一時停止しても、見通しが悪く、確認できない。 →信号機の設置。	
4.3	2つ目は商店街の駐車禁止の道路に車が駐車していることです。これは有料の駐車場に止めていない人が悪いかもしれませんがそもそも有料の駐車場が使いづらいから起こっていることだと思います。無料にすることや、近くに止められる駐車場を増やすなど対策が必要だと思います。以前信号の前のお店に2台止まっていた左折したいのに左折側に行けなくて戸惑ったことがあったのでよろしくお願いします。 障害者、高齢者など寄り添う都市づくりはとても暖かい事業だと思います。私も少しでも意識していきたいです。	違法駐車や交通違反者の取り締まりを推進し、歩行環境の安全確保に努めるため、「4.3特定事業の設定結果」の交通安全特定事業として違法駐車防止に関する広報、啓発活動の推進を位置づけ、継続的に実施することで交通安全のバリアフリー化を推進してまいります。
	信号待ちの車が横断歩道上で停車していたり、信号無視の歩行者がひかれそうになっているのを見たことがあるので交通安全強化週間を設けて巡視するなど、対策をお願いします。	
	道幅の狭い道路に加え、車のスピードが非常に速く、大変危険である。もう少しゆとりのある運転をするような呼びかけも実施してほしい。	

【公園に関すること】

2件

該当項目	意見内容	市の考え・対応
5.2	大館市にも小坂町の中央公園付近にあるような公衆トイレがあれば良いと思います。	公園施設は全ての人にとって重要な施設であり、バリアフリー化を推進することは公園利用者の利用促進に繋がります。また、「3.3(3)共生社会参加モデル施設」として公園を位置づけており、「5.2モデル事業」として施設内のバリアフリー化を事業化に向けて大館市バリアフリーまちづくり推進協議会で検討していきます。
	公園の水飲み場が車椅子使用者に適していない作りになっている。	

該当項目	意見内容	市の考え・対応
4.3	わたしは心のバリアフリーについて意見します。 「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです(「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画(2017 年 2 月ユニバーサルデザイン 2020 関係関係会議決定)」より)。と、大館市バリアフリーマスタープラン- 移動等円滑化促進方針 - に記載されています。 私は今まで「心のバリアフリー」という言葉を聞いたことがなく、 高校生の時、障害を持つ子ども達やその親御さん方と交流するボランティアに二度ほど参加し、そこで障害を持つ方自身やご家族の大変さを知りました。しかし、その交流の中でも、「心のバリアフリー」は聞くことはありませんでした。 大館市では「心のバリアフリー」はあまり知られていないように私は思います。 知的障害や精神障害、発達障害等を持つ方々への理解を得る・深める・交流することの大切さはわかりますが、それらが心のバリアフリーであると知ること必要だと考えます。 住宅や公共施設、道路等、さまざまな所にバリアフリーは必須です。 しかし、人が生きていくために何よりも必要なのは、相互理解といたわり、支えあう気持ちではないかと私は思います。 「心のバリアフリー」という言葉を知ってもらい、そこから障害者についての理解を深めていくことも重要ではないでしょうか。	ご意見のとおり、心のバリアフリーについての認知はまだ低いと考えております。本基本構想の「1.4基本構想において重視すべき視点」として「②先導的共生社会ホストタウンとして障害者・高齢者等への理解増進のための心のバリアフリー及びその他社会的なバリアに対するソフト事業を推進」と定めており、本市としても心のバリアフリーは重要と考えております。 「4.3特定事業の設定結果」の教育啓発特定事業や「4.4その他事業の設定結果」のソフト事業を通じて様々な心身の特性や考え方を持つ人たちの相互理解や支え合う気持ちを醸成するため、教育関係者や福祉関係者などと協力し、心のバリアフリーの普及啓発を推進してまいります。